

# 平成22年度 事業評価（事業活動記録）

事業No. 63

所管部局	企画管理部	所管課	情報推進課	担当者名	奥村 良浩
事業名	地域情報基盤管理運営費			事業分類	施設管理費
細事業名	地域情報基盤管理運営費			政策体系	352
会計	一般会計	科目	2.総務 - 1.総務 - 7.情報		

## 1. 事業の概要

ケーブルテレビネットワークの維持管理やケーブルテレビ・インターネットサービスを提供する。

## 2. 事業の目的と必要性

### ①施策で目指す目標との関連付け

人・物・情報を高度につなげ双方向の情報通信基盤をつくる事業。  
地域情報基盤整備事業で構築した情報通信基盤の管理運営を実施する。

### ②事業を実施する必要性

ケーブルテレビサービスの充実や機器及び伝送路等をトラブル無く又はトラブルが発生した場合でも速やかに復旧が行えるようにするためにも本事業が不可欠である。

## 3. 事業費の推移

	単位	平18決算	平19決算	平20決算	平21決算	平22予算	平23計画	平24計画
決算額または計画額	千円	118,687	34,612	6,387	29,258	11,656	16,234	16,234
うち一般職・嘱託職・臨時職の給与および共済費等	千円	0	0	0	0	0	0	0
財源内訳								
使用料・手数料等	千円	118,686	34,301	6,386	29,258	11,656	16,234	16,234
国・府支出金	千円	0	0	0	0	0	0	0
地方債	千円	0	0	0	0	0	0	0
一般財源	千円	1	311	1	0	0	0	0
職員等の従事人員	人/年	—	—	0.75	1.30			
人件費	千円	—	—	4,602	9,207			
事業費総額	千円	—	—	10,989	38,465			

※事業費を要しない場合は「0」、事業を実施しない場合は「空白」で表示。  
※千円未満を四捨五入し表示しているため、合計等が一致しない場合がある。

## 4. 主な事業費の内訳

地域イントラネット機器保守等	12,136,950円
地域イントラネット設備新設設定変更	2,452,800円
ネットワーク機器リース	744,660円
ヘッドエンドモデム購入	13,820,100円

## 5. 事業結果の概要

ヘッドエンドモデム更新により、HFC地域のインターネット接続の増速可を実現した。

## 6. 活動の詳細

活 動 内 容	活動日又は時期	活 動 結 果 等
<b>(1) 情報環境</b>		
ヘッドエンドモデム更新	平成21年12月～	HFC地域のインターネット接続の増速可を実現した。
国際交流会館内における総合政策課設置に伴う、配線設定作業	平成20年6月	平成20年6月末完成。同7月より使用。
<b>(2) 情報基盤</b>		
KBS及びNHK総合京都放送の地上デジタル放送再送信実施	平成20年9～10月	平成20年11月1日開始
BS・CSデジタル放送再送信実施	平成20年11～12月	平成21年1月1日開始
<b>(3) 情報提供</b>		
農業情報HP「南丹の美味しいほんまもん」開設	平成20年7月～	14箇所の直売所情報を現在掲載中

## 7. 所属長評価〔平成20年度から改善した点、今後の展開など〕

園部地域は一部地域を除いて同軸ケーブルによるサービスのため、高速・大容量のブロードバンド接続の要望に応えられない状況であったが、ケーブルモデムの全交換とセンターモデムの増設により通信速度の増速化を図ることができた。  
 今後は、市内全域での光ファイバー網による情報通信基盤整備とそれら基盤を多様な分野でのサービスに活用するための検討を進める必要がある。

### 【参考】過年度の評価

#### ■平成21年度の所属長評価

- ①有効性・効率性を向上させるため、担当職員と議論を重ねた点  
CATVサービスの充実化（KBS・衛星デジタル放送サービスの開始）
- ②当該事業のアピール事項  
多チャンネル放送の追加により、都市圏と同等のサービスが提供可能になった。
- ③反省点、今後の展開・方向性等  
テレビカメラ等従来の機器の再活用を図る。  
第2回映像コンクールを開催し、自主放送への市民参加を促進する。